

授業科目	医の倫理				
担当者	桂ノ口結衣				
実務経験者の概要					
学科名	理学療法学専攻	学 年	1 年	総単位数	1 単位
	作業療法学専攻	開講時期	前期	選択・必修	必修

■ 内 容

「医の倫理」の思想的系譜を概観し、その基本的な考え方および理学療法士・作業療法士の倫理綱領等を知る。そのうえで、現代社会における「医の倫理」の諸問題について、議論の要点を把握するとともに、多様な観点・立場から考察する。

■ 到達目標

1. 「医の倫理」の基本的な考え方について述べるができる。2. 理学療法士・作業療法士の職業倫理について述べるができる。3. 医療における倫理問題について、複数の論点を挙げるができる。4. 現代社会の医療における倫理問題について、対象者の立場ならびに医療者としての自らの立場を意識したうえで、理由とともに説明することができる。

■ 授業計画

- 第1回 「医の倫理」の歴史と、理学療法士・作業療法士の職業倫理
- 第2回 「医の倫理」の基礎理論
- 第3回 医療者-患者関係1：インフォームドコンセント、自己決定
- 第4回 医療者-患者関係2：弱さの尊重
- 第5回 小児医療と高齢者医療における倫理問題
- 第6回 終末期と死に関する倫理問題
- 第7回 医療と社会
- 第8回 確認テストと総まとめ

■ 評価方法

毎回のコメントペーパー（6×7=42%）、【科目試験（筆記試験）】（58%）。コメントペーパーの課題は、各回の授業内で指示する。

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

〈第1回～第4回〉

予習：教科書第1章から第3章までをよく読んでおく。

復習：配布する課題文を読む。授業のノート・資料を読み返し、重要な概念・論点を説明できるようにする。

〈第5回～第7回〉

予習：教科書第4章から第10章（特に第6章から第8章）、および第15章・第16章を精読しておく。

復習：配布する課題文を読む。授業のノート・資料を読み返し、重要な概念・論点を説明できるようにする。

■ 教科書

書名：テキストブック 生命倫理
 著者名：霜田求（編）
 出版社：法律文化社

■ 参考図書

書名：ケアの社会倫理学：医療・看護・介護・教育をつなぐ
著者名：川本隆史編
出版社：有斐閣

■ 留意事項

授業は、すべての受講者のためにあります。したがって、質問や意見は、ささいなものであれ挑戦的なものであれ、歓迎します。私語は、ほかの学生の学習を妨害することになるので、禁止します。

■ 講義受講にあたって

医療・福祉に関わる倫理的・社会的問題はメディアでもよく報道されています。日頃から問題意識をもってそうした情報を得るようにしましょう。また、いまひとつ問題意識がもちにくい場合、どこにその根があるのかを探ってみましょう。